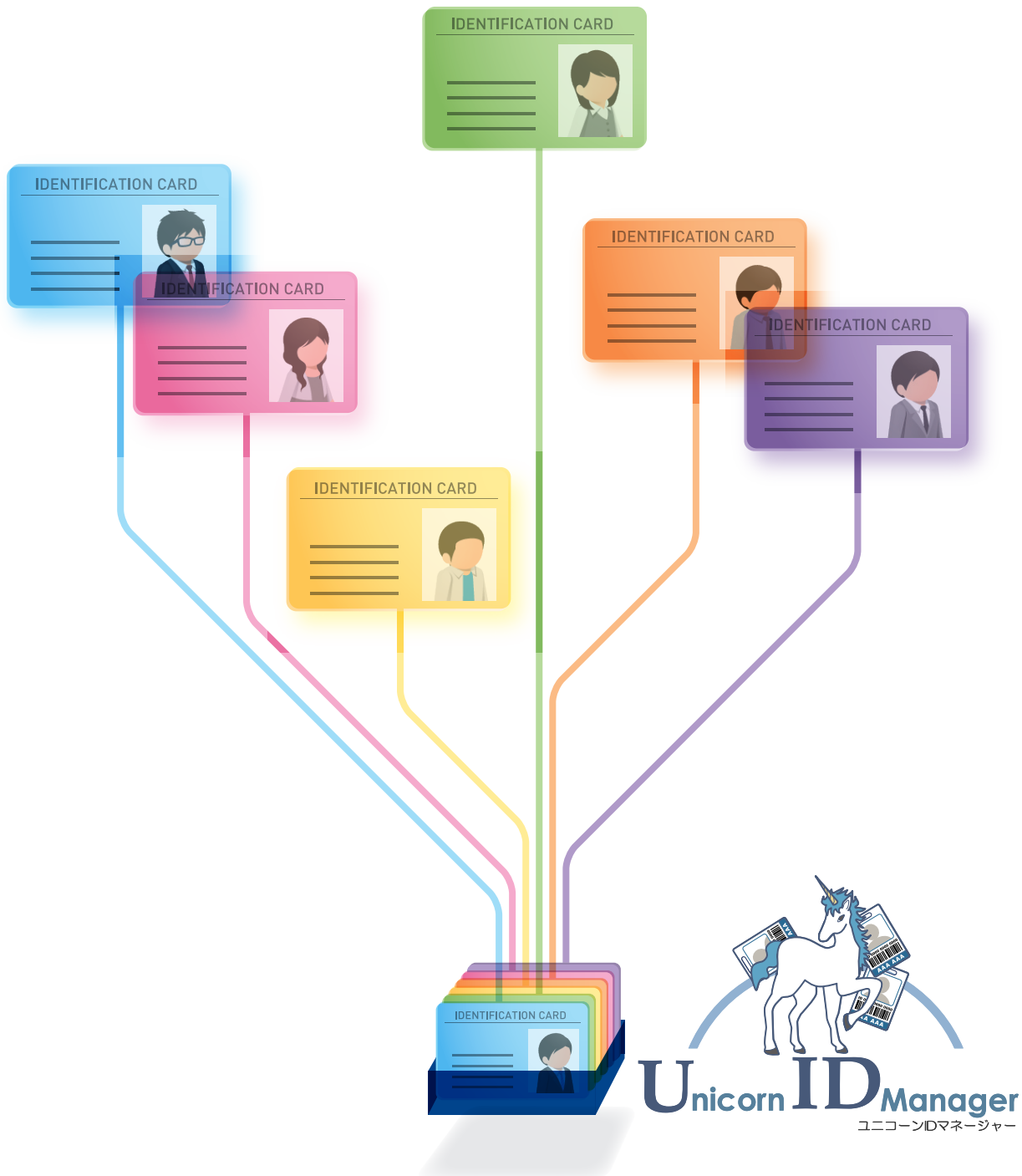


Unicorn ID Manager

ユニコーンIDマネージャー



はじめてID管理製品を導入する方へ
オンプレミスとクラウドの混在により複雑化する
ユーザーID管理の課題は「Unicorn ID Manager」で解決

複数システムのID情報を統合管理 業務を効率化し、運用負荷も大幅軽減！

Unicorn ID Manager(ユニコーンIDマネージャー)は、複数システムがそれぞれ管理しているID情報を、一括して管理できるオープンソースのID管理・連携製品です。

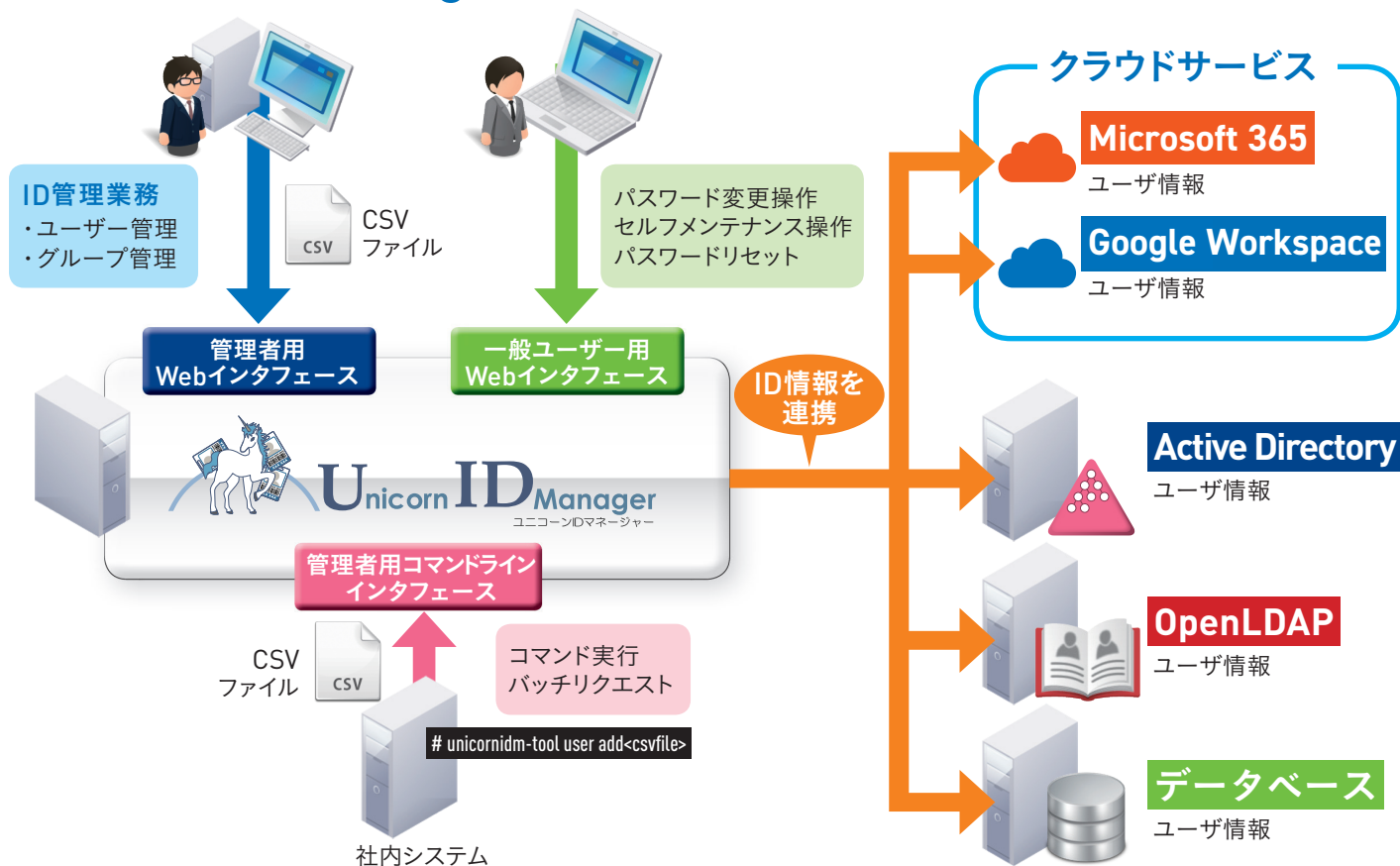
昨今の企業では、Windows Active DirectoryやOpenLDAPなどのLDAP製品、データベースなどのオンプレミスのシステムとMicrosoft 365やGoogle WorkspaceなどクラウドのシステムでID情報が分散するケースが多くみられます。

Unicorn ID Managerは、このように散在するID情報を統合管理することで業務を効率化し、運用負荷を大幅に軽減します。また、パスワード変更機能やセルフメンテナンス機能により、一般ユーザーによるメンテナンスの利便性も向上させます。さらにLinuxコマンド連携やコマンドインタフェースによるCSVバッチ連携など、さまざまなシステムとのID連携を実現します。

はじめてID管理製品を導入する際、低コストでシンプルな管理を実現したい企業に最適なソリューションです。



Unicorn ID Manager 利用イメージ



対応バックエンド

- ・Active Directory / Samba
- ・LDAP (OpenLDAP)
- ・RDBMS (PostgreSQL、MariaDB、MySQL)
- ・Microsoft 365
- ・Google Workspace

Unicorn ID Managerは、ID情報を集約するメタディレクトリを持たないため、各連携先の接続設定と属性のマッピング設定を行うことで利用を開始することができます。

管理者用Webインターフェース

管理対象選択

- 管理対象ごとにID連携先、連携する属性を設定可能

操作メニュー

ユーザー管理

- ユーザー個別操作
- ユーザー一括操作
- ユーザー一覧取得
- パスワード変更

その他

- 操作結果一覧
- 生成済みランダムパスワード一覧取得

グループ管理

- グループ個別操作
- グループ一括操作
- グループ一覧取得

ユーザー一覧

- 各連携先のユーザー一覧情報を統合して表示

管理者用パスワード管理

- ランダムパスワードの自動生成
- ユーザーに設定したパスワードの印刷支援

ユーザー個別操作・一括操作

- 操作時の連携対象の選択が可能
- ランダムパスワードの自動生成
- マルチバリュー属性の操作が可能

ユーザーCSV一括操作

- 操作時の連携対象の選択が可能
- ランダムパスワードの自動生成
- マルチバリュー属性の操作が可能

グループ管理

- グループ操作の連携先選択が可能

操作結果確認

- 各連携先への連携操作の結果表示
- 操作結果をCSV形式でエクスポート可能

その他の機能

- ・ユーザー情報操作(登録・更新・削除・有効化／無効化)時のLinux上のコマンド実行機能
- ・コマンドラインインタフェースによるCSVバッチ処理対応
- ・一般ユーザー向け画面のOpenAMとのSSO連携機能

一般ユーザー用Webインターフェース

①パスワード変更画面

連携先のパスワードを一括変更
パスワードの複雑性による制約
ユーザー向けメッセージのカスタマイズ

②セルフメンテナンス

ユーザー自身が自分の属性の値を変更可能
導入時初期設定により変更可能属性を設定

③パスワードリセット

メールによるパスワードリセットURLの通知
SMTPサーバーへの通知メール送信

①一般ユーザー向けパスワード変更画面

②一般ユーザー向けセルフメンテナンス画面

Unicorn ID Manager 機能一覧

管理者向け機能

連携設定

- Unicorn ID Manager 1台で複数ターゲットの連携設定・利用が可能
- 1つのターゲットに複数のバックエンドを指定可能

ユーザー管理操作

- ユーザー個別操作 (登録・更新・削除・有効化・無効化・リネーム)
- ユーザーCSV一括操作 (登録・更新・削除・有効化・無効化・リネーム)
・SJIS/UTF-8対応
- パスワード変更操作
- ユーザー情報一覧取得操作 (Webブラウザ表示、CSVエクスポート)
・一覧表示項目の値による絞り込み検索に対応

グループ管理操作

- グループ個別操作 (登録・更新・削除・メンバー管理)
- グループCSV一括操作 (登録・更新・削除・メンバー管理)
- グループ情報一覧取得操作 (Webブラウザ表示、CSVエクスポート)

操作結果確認

- 対象の操作
・ユーザー情報変更操作、グループ情報変更操作
・一般ユーザーのパスワード変更操作
- 記録される情報
・日時、実行者、操作種別、対象リソース名、操作結果、接続元IPアドレス
- 検索キーワードによる絞り込み検索に対応

管理者ロール管理機能

- 操作対象 (ターゲット)、操作種別を限定した「ロール」を設定可能
- ユーザー管理操作、一覧取得、パスワード変更
- グループ管理操作、一覧取得
- 操作結果一覧取得 … など

一般ユーザー向け機能

パスワード変更機能

- パスワード制約
・パスワード最大文字数、最小文字数
・複雑性 (文字種別の必須文字数、含まれる文字の種類、規則性)
- ユーザー向けメッセージのカスタマイズ
- スマートフォン・タブレット対応

セルフメンテナンス機能

- ・ユーザー認証後にユーザー自身で自分の属性を変更可能

パスワードリセット

- 事前登録メールアドレスへのパスワードリセットURLの通知
- SMTP送信機能 : SMTP AUTH、SMTPS

各バックエンドのID連携機能

Active Directory / Samba バックエンド

- ユーザー・グループ情報のID連携に対応
- 所属OUの指定可能
- カスタムスキーマ対応
- アカウント有効期限の指定可能
- LDAPフィルタによる連携対象ユーザー・グループの指定
- 複数の接続先ADサーバーの指定に対応

LDAPバックエンド

- uid番号の自動割り当て
- 所属OUの指定可能
- カスタムスキーマ対応
- OpenLDAPパスワードポリシー対応
・パスワード有効期限切れユーザーがパスワード変更可能
- LDAPフィルタによる連携対象ユーザー・グループの指定
- Samba 連携対応
- 複数の接続先LDAPサーバーの指定に対応
- 対応パスワードハッシュアルゴリズム
・PBKDF2、SHA2、CRYPT、SSHA1、SHA1、MD5

Microsoft 365 (Azure AD) バックエンド

- ユーザー・グループ情報のID連携
- ライセンス、プラン情報の登録・更新機能
- ユーザー登録時、immutableId登録可能

Google Workspace バックエンド

- ユーザー・グループ情報のID連携
- ユーザーの組織部門の指定・変更に対応
- グループ管理機能でグループのメンバー管理に対応

RDBMSバックエンド

- ユーザー・グループ情報のID連携
- ユーザー・グループ・メンバー情報の各テーブルにID情報を格納
- 入力属性と、各テーブルのカラム名のマッピングの設定可能
- ユーザープライマリキー、グループプライマリキーの指定

必要要件等

対応OS	Red Hat Enterprise Linux 8/9 (x86-64) AlmaLinux Rocky Linux 8/9 (x86-64)
ハードウェア要件	Intel Xeon CPU 2core以上 メモリ 4GB以上、ディスク 20GB以上 (OS領域含む)

クライアント要件	Windows、macOS、Linux 上の下記のWebブラウザから利用 Internet Explorer 11、Microsoft Edge、Google Chrome、Firefox、Safari
----------	--

定価 (税別)

パッケージ	: ¥720,000 / ノード
年間サポート	: ¥288,000 / システム



※ 製品キャラクターは一角獣のユニコーンです
複数のユーザーIDを1つに串刺し管理できることを意味しています